



伊豆市立中伊豆中学校 学校便り

中 中 通 信

校訓 努力は必ず報われる

11月号

文責 樋口正則

後期の活動が始まります (生徒総会)

令和元年度後期生徒総会が開かれました。後期生徒会の目標は「実」です。中伊豆中生一人一人が自分たちの思いや夢にむかって努力し実を結ぶそんな思いが込められています。後期の生徒会活動は、大きな行事がない分、日常の活動や新しい活動にチャレンジするチャンスです。そんな思いが込められた活動報告になりました。また、後半では「中伊豆中学校生徒会6つの誇り」について、取り組みの現状から、「守られていないものが多い」「誇りと思えるように取り組むにはどうしたら良いのか」等の課題や提案が出されました。今後、引き続き話し合いを行っていきます。



石楠花BOXより

- ・緑流祭に参加させていただいて、運営進行を子供たちが自主的に動いていて、先生方も生徒の椅子方へ入っておられて、クラスの仲間意識も感じられこれまでと違って良かった。チーム中伊豆の原動力も力強くパワーをもらいました。主任児童委員 三田様
- ・生徒の自主性を感じられる発表でした。プログラムの内容の選定や当日の運営等とても良かったと思いました。主任児童委員 内田様
- ・校舎内外の環境整備がとてもきれいになり、生徒の活躍が分かる掲示物に工夫がありました。
- ・授業参観(11/5)で、3年生の成長を感じ、学習に集中して取り組み先生と生徒の関係も良好で、学ぶ雰囲気があると実感しました。

夢を実現するために (ドリームプロジェクト)

夢の実現の手助けのために行っている「ドリームプロジェクト夢講座」先日、第3回目を実施しました。今回の講師としてお招きした川谷潤太先生は、これまで数多くの高校の部活動の指導をされ、野球やソフトボールでは日本一にも輝いています。川谷先生からは「脳内レボリユーション『脳レボ』～最大限に実力を発揮する「集中力」の高め方～」と題して講演を行っていただきました。その中で、「人間は、自分がイメージした通りの人間になる、心が何を見ているか、心が体を動かす」「徹底的なプラス思考で全てが変わる、できると思えばできる、できないと思えばできない」。そして、夢を実現するためのポイントとして①「自分はすごい」に気づこう ②まずはやってみよう、ちょっとできそうなことからチャレンジ・トライ ③一生懸命やってみよう、ドーパミン全開で練習・勉強。 ④仲間の力を高めよう、チームメイトと同調してチームエネルギーを高める。等のお話をいただいたり、講演終了後も特別にお話をして下さったりと、大変有意義な時間となりました。週末の部活動等に早速取り入れている姿も見られました。

- ・私は何かをする前から(ムリだ)とってしまう癖があるので(ムリだ)ではなくて(できる)とってしまう癖をつけていきたいです。試合の時とかみんなの鞆の並べ方をみていると一生懸命と感じられないので、今日見た野球部の人たちのようにきれいに並べたい。 2年 手老彩日さん
- ・講話を聞いたとき「あ!変わらなくっちゃ」と思いました。まずは、整理整頓から始めました。家ではいつもより少し部屋をきれいにし、学校では昼休みの態度を変えました。 3年 石谷庵莉さん
- ・すぐくためになった。「自分はできる!と思う」「やってみる(挑戦)」これを意識してこれからの生活、受験勉強をしていきたい。今回の講話を聞いて家に帰って早速身の回りの物を片付けることをした。そして勉強も「自分は覚えられる!良い点を取れる!」と思い込めてやった。とてもためになる講演だった。 3年 森川幸鈴さん



陸上部の活動を来年度再開します

本年度休部していた陸上部の活動を、中伊豆ACの皆さんのご協力の下、来年度から再開します。入部、転部の手続きについては後日ご案内します。

福祉について学ぶ (1年総合的な学習)

1年生の総合的な学習のテーマは、福祉です。これまで車椅子体験やアイマスク体験、認知症サポーター養成講座等を通して、体の不自由な方の気持ちの疑似体験やお年寄りとの会話で気を付けることなどを勉強してきました。これらの経験を生かし、特別養護老人ホームなかいずを訪問しました。当日は、大型紙芝居の読み聞かせや折り紙、歌の披露などをしながら利用者の皆さんとふれあいの時間を持つことができました。



小さな親切運動フォーラムに参加 (1年)

中中通信9月号でもお知らせいたしましたが、中伊豆中学校は中伊豆小学校と共に「あいさつ運動」協力校に指定されています。先日、小さな親切運動本部からフォーラムへ招待され参加してきました。その中で、昨年度から2年間「あいさつ運動」協力校として活動してきた御前崎市立浜岡中学校区5校による取り組みの発表がありました。それぞれの学校の取り組みや、小中協力しての取り組みの様子等を聞くことで、これからの中伊豆中学校区の活動の参考にすることができました。



- 今日の発表を聞いて、挨拶が本当に大切なのだと感じました。他の学校の発表を聞いて①朝夕の挨拶を必ずする。②他人からの親切を心から受け入れ「ありがとう」と言う。③人から「ありがとう」と言われたら「どういたしまして」と言う。④人が困っているのを見かけたら手伝える。の4つを心にとめて生活していきたいと思います。中伊豆中学校を挨拶が絶えることのない学校にしていきたいです。 荒井麻貴さん
- 僕たちと同じ中学生の発表を聞きました。その学校では中学校だけではなく小学校や地域の方とも連携していて、地域全体が気持ちの良い挨拶にあふれている様子が伝わりました。とても良い地域だなあと心から思いました。これからも、しっかり気持ちを込めてあいさつ運動を続けたいと思います。 内田優海夢さん

地域を学び地域を知る (2年)

2年生の総合的な学習のテーマは、地域学習です。今回、地域の名所を訪問することで、自分たちが暮らしている地域の良さを再発見することや、地域学習を生き方教育の一環として捉え、地域の自然・産業・文化などを知り、自分自身のキャリア設計について考える機会として八岳のわさび田やジオリア・昭和の森等を訪問し学習をしてきました。



大学を訪問し、将来を見つめる (3年)

3年生が進路学習の一環として常葉大学草薙キャンパスを訪問しました。卒業を4ヶ月後に控え、いよいよ進路選択が迫る中、これまで遠い存在であった最終学府である大学について学ぶことにより、「学び続ける」生涯学習の視点から、キャリアプランニング能力＝「なりたい自分になる」を向上させ、夢を叶えるために一歩を踏み出す日となりました。



インフルエンザ罹患後から学校復帰までの手続きの流れが変わります

- ①風邪等の症状で医療機関を受診する際には、インフルエンザ罹患証明書およびインフルエンザ経過報告書を医療機関へ持参し発行してもらう。
(様式は学校HPよりダウンロードできます)
- ②発症日から午前・午後の体温を上記の報告書に保護者が記入する。
(発症日を0日とし5日間、計6日&平熱に戻って2日間)
- ③上記書類に保護者の署名捺印し学校に登校・提出
- ④学校から「出席停止通知書」をもらう。
※詳細は 10/29 配布の「インフルエンザによる出席停止の様式変更について」をご覧ください。